



すすんで やさしく こんきよく ~みんなでつくろう! 楽しい学校~

「学校はいま!」「だいにん」「じゃがいも」とれました

1/25 2年生算数(箱を使って立方体の勉強)



手洗い、マスク、換気などの基本的な対策を徹底するとともに、子どもたちの学びを止めることなく可能な範囲で取り組みを進めてまいります。保護者、地域の皆様には再び困難な時期を迎えましたが、子どもたちの笑顔の一つでも多く引き出すことができますよう、ご支援をお願いいたします。

3年生 給食の時間「いただきます!」



1/18 収穫しただいこんとじゃがいも運ぶ1年生



津田校では各学年ともに、校内の畑で季節の野菜などを育てる栽培活動に取り組んでいます。命あるものとのふれあいを通して、野菜への親しみを深めたり、大切にしたりする気持ちを養うことをめあてとしていきます。

すが、子どもたちはおおむね、気に活動しています。学校は、

運動場のフジだなもさっぱり



この時期になると毎年、地域のボランティアの方が、運動場のフジ棚の枝をはらいに来てくださいます。今年もまた、「ご夫婦で来ていただき、3日がかりでフジ棚をきれいに整えていただきました。このフジの木は、春になると白い花を咲かせて、あたりを彩ってくれることでしょうか。学校が地域の皆様に支えていただいていることをたいへんうれしく思います。ありがとうございます。」

地震・津波避難訓練

一月十七日(月)、紀伊半島にマグニチュード7以上の地震が発生したことを想定して避難訓練が行われました。この日は津波も想定し、校舎三階に全員が避難しました。ほとんどの児童が、真剣に取り組み、すばやく避難することができました。

1/17 机の下に入って身を守る1年生



つたっ子朝遊び



1/19 みんなでドッジボールをする子どもたち

毎週水曜日の朝、授業始まるまでの時間を使って朝遊びが行われています。これは児童会の企画委員会の子どもの企画して実施しているものです。毎回、一年から六年生までたくさんの子どもたちが参加し楽しく遊んでいます。

1/17 人権擁護委員の話を聞く4年生



子どもたちからも真剣な意見がたくさん出ました。日ごろ先生たちから聞いている話とは少し違った切り口の授業で、子どもたちは熱心に話を聞き考えていました。

貝塚市人権擁護委員の方々が、四年生の子どもたちに「いじめをなくそう」というテーマで授業をしてくださいました。「いじめ」の場面をあつかったアニメビデオを見た後、「いじめる子」「いじめられる子」「だまって見ていた子」など、それぞれの立場に立って話し合いました。

「いじめ」ダメ、ぜったい!

日 曜		2月行事予定
2/1	火	家学キャンペーン(2/4)ランニング週間(2,4日)放課後学習高学年
2	水	つたっ子タイム
3	木	諸費振替
4	金	児童委員会
6	日	日曜参観
7	月	日曜参観代休
8	火	放課後学習高学年
14	月	つたっ子プレゼント作り放課後学習低学年
15	火	体験入学・入学説明会放課後学習高学年
16	水	4年人権研究授業 12356年 13:35 下校 4年 14:50 下校
18	金	クラブ見学 3年下校時刻変更 15:55
21	月	放課後学習低学年
22	火	放課後学習高学年
25	金	ひまわり号 クラブ最終
28	月	放課後学習低学年
3/14 卒業式予行		3/24 修了式
3/18 卒業式		4/7 入学式

「私、縄跳び上手になりたいねん」

校長 坂本 幸仁

ある日の大休憩（2時間目と3時間目の間の休憩時間）のことです。遊んでいる子どもたちのようすを写真に撮ろうと運動場に出てみました。多くの子どもたちはドッジボールやバスケットボールなどをして楽しそうに遊んでいます。そんな中、運動場の端の方で、一人黙々と縄跳びの練習をしている女の子がいました。気になったのでそばへ行って声をかけてみました。

「一生懸命練習しているね。えらいね。」

「私、縄跳びへたやから上手になりたいねん。」（女の子）

「あ、そうなの。毎日コツコツ練習すれば必ず上手になれるよ。」

「ほんまに上手になれるかな？」（女の子）

「大丈夫、あきらめんと続けることが大事やで。」

「うん、がんばるわ。」「校長先生、上手になったら見に来てや。」（女の子）



一つひとつの言葉から女の子のまっすぐな気持ちが伝わってきて、私はとてもうれしくなりました。出来ないことをあきらめてしまわないで、「何とかしてうまくなりたい」という前向きな気持ちを持って、すすんで取り組んでいる姿がすばらしいなと思いました。またこの女の子はきっと上手になることができるだろうとも思いました。なぜかという人に言われてやろうとしているのではなく、自分から意欲を持って、つまり「やる気」を持って取り組もうとしているからです。

私たちは往々にして、「子どもは教え込んだから伸びたのだ。かしこくなったのだ。」と誤ってしまいます。しかし子どもが伸びていくためには、その子ども自身の力が必要です。つまり「やる気」を持って事にあたってこそ、子どもの力が十分に発揮され、本当の意味で伸びていくものだと思うのです。

「では、どうしたら子どもがやる気を持つようになるのか？」

これはたいへん難しい問題ですが、ある本にこんなことが書かれてありました。

① 「世話をしすぎない」

- ・ 世話をされすぎた人間は受け身人間になってしまう。
- ・ 何でもやらせてみる。自分がした、自分でやりとげた経験をもつ。「私はやれたんだ」という満足感と喜びが自信につながる。

② 「やりとげたことをほめる」

- ・ 結果の善し悪しではなく、子どもが自分でやろうと考え、やりとげたことをほめる。
- ・ それが子どもにとっては大きな励ましとなり、新たな意欲につながる。

③ 「失敗させてみる」

- ・ 失敗を頭から叱りつけてしまうと、子どもは「失敗しないように」と消極的になり、自分からすすんでやろうとする意欲を失う。
- ・ 失敗することは悪いことではない。失敗したときにどういう行動を取るかが大切。
- ・ 失敗を取り返すために一生懸命に努力する人間になってほしい。

これはあくまでも一つの考え方にすぎません。しかし子どもたちの「やる気」をどう引き出すかは学校にとっても重要な課題です。津田校は、一人ひとりの子どもにいていねいに関わり、その良さを認め、励ますとともに、子どもたちの心に火をつけるために、さらに何が必要なのかを考えつつ日々の取り組みを進めてまいります。

感染拡大が進み再び困難な状況に入ってきましたが、可能なかぎり子どもたちの学びを止めることなく教育活動を進めていきたいと考えています。保護者、地域の皆様には、率直なご意見とともに、ご支援をいただけますようお願いいたします。